

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●桜花賞はスターアニスが優勝

4月12日(日)におこなわれた桜花賞(G I)では、阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)1着以来の実戦となったスターアニス(牝3歳/栗東・高野友和厩舎)が1番人気に応じて優勝しました。阪神ジュベナイルフィリーズからの直行(同レースが牝馬限定戦となった1991年以降)で桜花賞を制したのは2021年ソダシ、2023年リバティア일랜드、2024年ステレンボッシュに続いて史上4頭目。前年の最優秀2歳牝馬による桜花賞勝利は2023年リバティア일랜드以来で、史上12頭目のこととなります。

●横山武史騎手がJRA通算800勝を達成

4月12日(日)の3回中山6日・第10レースとしておこなわれたあけぼのSではストレイトカーが1着となり、同馬に騎乗した横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、史上59人目・現役23人目となるJRA通算800勝(6602戦目)を達成しました。

●室井潔調教師がJRA初勝利をあげる

4月11日(土)の1回福島1日・第3レースではサフランルージュが1着となり、同馬を管理する室井潔調教師(美浦)は、JRA初勝利(延べ17頭目)をあげました。

●ロードカナロア産駒がJRA通算1300勝を達成

4月12日(日)の1回福島2日・第10レースとしておこなわれた喜多方特別ではイマージョンが1着となり、ロードカナロア産駒のJRA通算勝利数が1300勝となりました。これは種牡馬としてJRA史上12頭目の記録となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ドラゴンウェルズが東京スプリント(大井)で重賞初制覇

東京スプリント(Jpn III、4月15日、大井、1,200^円)は、300^円ほど走ったところで先頭を奪った2番人気のドラゴンウェルズ(戸崎圭太騎手、牡4歳、父フロステッド)がティントレット(大井)に1馬身1/4差を付けて優勝。ヤマニナルリフラが3着に入り、1番人気のヤマニンチェルキは4着、3番人気のママコチャは5着、ハッピーマンは9着に敗れています。

●ネクストスター北日本はゴッドバロック【各地の主要3歳重賞】

ネクストスター北日本(4月5日、水沢、1,400^円)は、2番手を進んだ北海道からの遠征馬ゴッドバロック(牡、父シルバーステート)が4コーナー手前で逃げ馬を捉えて5馬身差で圧勝、単勝1.1倍の支持に応えました。菊水賞(4月2日、園田、1,700^円)は、2番手追走から3、4コーナー中間で先頭に立った単勝1.3倍で圧倒的人気のゴッドフェンサー(牡、父ルヴァンスレーヴ)が後続を5馬身引き離して重賞3連勝。ル・プランタン賞(4月5日、佐賀、1,800^円、牝馬)は、単勝1.2倍の支持を集めた地元佐賀の重賞5勝馬サキドリトッケン(父トウザワールド)が中団から追上げて直線半ばで差し切り勝ち。ネクストスター中日本(4月7日、金沢、1,400^円)は、逃げた1番人気の愛知所属馬ミモザノキセツ(牡、父キタサンミカヅキ)が後続をアタマ差抑え、4度目の重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1クイーンエリザベスS～サーデリウスが制す

現地4月11日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われたG1クイーンエリザベスS(3歳上、芝2,000^米)はC.ウィリアムズ騎手が手綱を取ったサーデリウス(牡5歳、父フランケル、G.ウォーターハウス&A.ポット厩舎)が7頭立ての3番手追走から直線に向いて先頭に立つと、最後方から追上げたG1ローズヒルギニーの勝ち馬リンダーマンに2.21馬身差をつけて優勝しました。勝ったサーデリウスはフランスのJ.C.ルジェ厩舎からデリウスの名でデビュー。G3リス賞(芝2,400^米)優勝を含む6戦3勝の後、セールで130万^米(当時約2億5662万円)で取引されてオーストラリアに移籍しました。新天地では昨年9月のG1アンダーウッドS(芝1,800^米)と10月のG1ターンブルS(芝2,000^米)も連勝しましたが、目標としていたG1コックスプレートとG1メルボルンCは統括団体の獣医師による判断で登録から除外されて休養入り。復帰戦となった今年2月のG1ペリーエレガントS3着、3月のG1ランヴェットS3着を経てここに臨んでいました。

●グランドナショナル～アイアムマキシマスが2勝目

イギリスを代表する障害レースのひとつであるグランドナショナル(7歳上、芝6,870^米、障害数30)が4月11日にエイントリー競馬場で行われ、トップハンドの166^{kg}(約75kg)を背負ったアイアムマキシマス(騾10歳、父オーソライズド)がP.タウンンド騎手を背に2馬身半差で優勝。2年ぶり2度目となる同レース制覇を果たしました。管理するアイルランドのW.マリンズ調教師はこのレース3連覇で史上最多タイの4勝目です。